

第3学年 道徳科学習指導案

令和7年10月15日（水）第5校時

- 1 主題名 仲間を守るきまり 内容項目【C 規則の尊重】
- 2 ねらい インターネットを介した学習から、インターネットでのルールを考えることを通して、約束やルールがあつてこそよりよい人間関係や集団生活が築けることに気づき、進んで守ろうとする態度を育てる。

教材名 「よろこびはだれに」（出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題は、小学校第3学年及び第4学年の内容項目「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。」に関するものである。この内容は、低学年の内容項目「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。」から、高学年の内容項目「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。」を通じて育まれ、中学校の内容項目「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。」に発展していく。

この段階においては、約束やきまりの意義やよさを理解して、進んで約束やきまりを守ることができる児童を育てていくことが重要になる。

指導に当たっては、今まで以上に、授業においてインターネットを介した学習場面が増えることが考えられ、児童に対して情報には様々な権利があることを理解させるとともに、これらの権利を守ることの大切さを考えさせたい。「きまりは守らなくてはいけない」ということは児童も分かっており、日常生活でも守ろうとしている。しかし、インターネットに関わる「権利」や「ルール」については、難しいものと思われる。さらに、「気付く」とことと「できる」とことは、別物である。インターネットの活用は、ルールの遵守なしでは成り立たない。一人一人がそのルールの意義や目的を理解した上で、それらを主体的に守り、よりよい集団や社会をつくっていくことが大切となる。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

（略）

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、なわとび大会の練習を三チームに分かれ始める。インターネットで長なわのこつを調べていると、ならび方やとび方の動画を見つけ、自分たちも一位になるような記録を出して動画にのせようと話し合い、新記録を出した様子を動画に記録した。主人公のわたしは兄にその動画を見せるとほめられ、この動画が誰かの役に立つかもしれないと思うようになった。しかし、翌日、先生から他のクラスでインターネットに写真をのせたことが分かり、問題になったことを聞かされる。

本教材では、主人公が喜びや感謝を共有したいと思い、インターネットに動画をのせようと思った場面を中心に、タブレットに書き込みたいという気持ちと書き込みをしてはいけないという気持ちの葛藤を考えることを通して、ねらいに迫るものである。本学級の児童の実態を受け、本教材から主に次の3つの視点を中心に話し合い、ねらいに迫る。

① 新記録を達成したときの主人公の思い

大会が近くなり、新記録を出そうと真剣に練習し、新記録が出たとき「うれしくて、うれしくて、なみだが出てきた」主人公わたしの気持ちに共感させる。

② タブレットに向かい、インターネットに書き込みをするかしないか考えているわたしの葛藤

主人公がタブレットに書き込みたいという気持ちと、書き込みをしてはいけないという気持ちの相反する心の葛藤を考えさせる。

③ 先生の話聞くわたしの思い

インターネットに動画をのせようとした主人公の思いを押さえ、ルールを守るとは、みんなが気持ちよく生活していくために必要だという考えを押さえる。

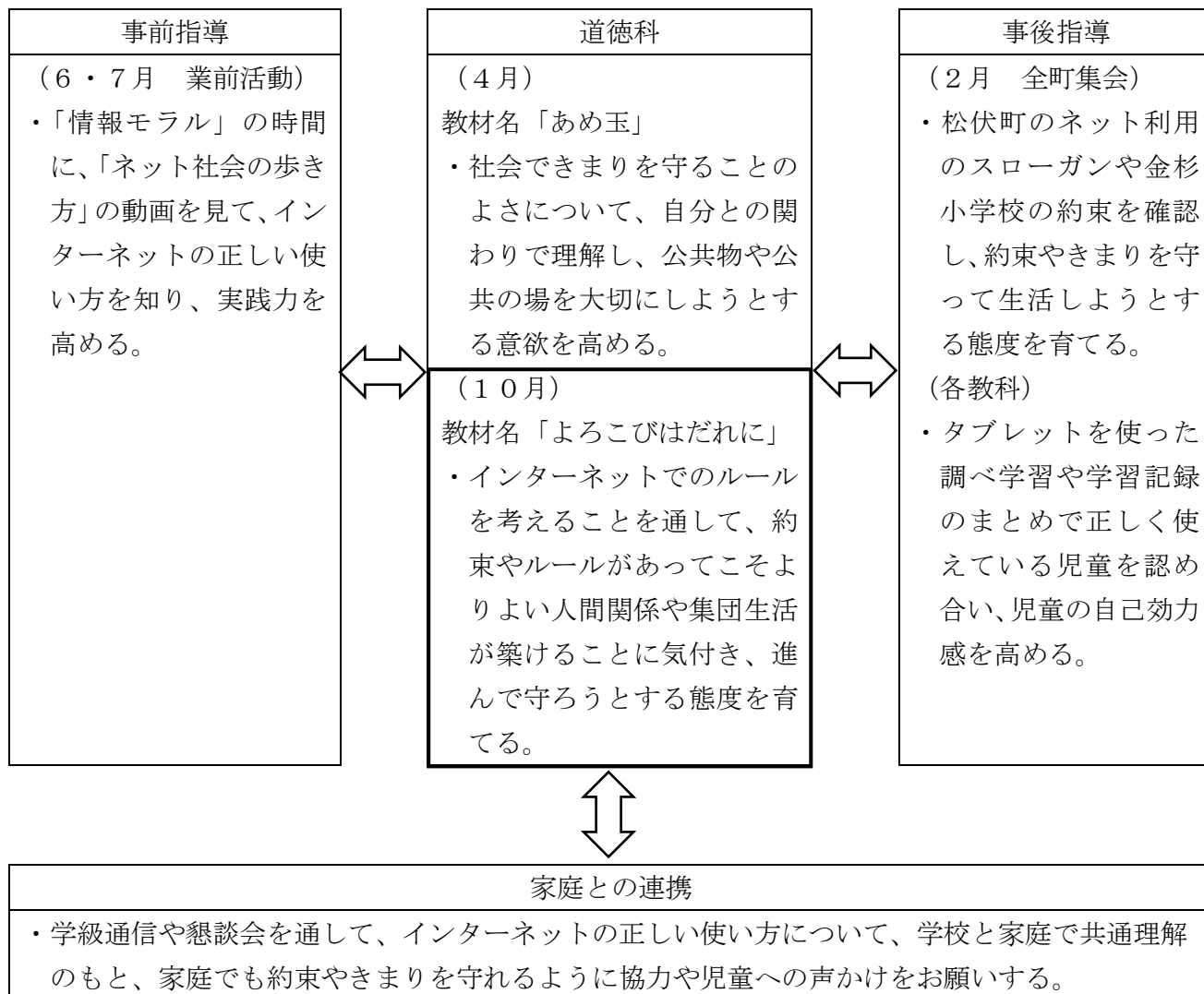
4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価の視点	時間
導入	1 約束やルールについて考える。 - 私たちの学校や家庭、地域にはどんなルールがあるのでしょうか。 - どうしてきまりがあるのでしょうか。	- ろう下は走らない。 - 悪口を言わない。 - ルールを守らないと楽しくない。 - 自分や友達を守るためにある。 - けんかをしないため。	- 身の回りの約束やルールを確認し、約束やルールについて問題意識をもたせる。 - 金小ブログを見せ、SNS への関心をもたせる。	5分
	やくそくやルールは、なぜ守らなければいけないのだろう。			

展 開	2 教材「よろこびはだれに」を聞き、話し合う。		・状況を知らせ、登場人物に共感しやすくする。 ・「わたし」の気持ちを考えながら聞く。	30分
①新記録を達成した「わたし」はどんな気持ちになったでしょうか。		・うれしくて、なみだが出る。 ・みんなの息がぴったりあっている。 ・インターネットの動画のおかげだ。	・努力の末の新記録達成に歓喜し、その喜びや感謝の気持ちをインターネットでも共有したい「わたし」の気持ちを共感的に考えられるようにする。	
②「わたし」はタブレットに向かいながら、どんなことを考えているのでしょうか。		・インターネットにのせてみんなに見せたら、わたしたちの動画も役に立つかな。 ・お兄ちゃんもうれしそうにしてくれてよかったな。 ・宿題が進まないくらいうれしい。	・タブレットに書き込みながらも、ためらう「わたし」の葛藤を心情メーターを使って自分の考えをもち、考えを交流できるようにする。 ・タブレットに書き込みたい気持ちと書き込みをしてはいけないという相反する感情を表現できるように、心情を見える化する。	
		・動画をのせるのに反対の人もいたな。 ・お母さんは何て思うかな。	・グループ学習を通して、互いの感じ方や考え方を伝え合いながら、視野を広げる助けとする。	
			☆タブレットに書き込みたいと思う気持ちと書き込みをしてはいけないと思う気持ちについて話し合っている。 (発言、ロイロノート)	
③「わたし」は、先生の話聞きながら、どんなことを考えているのでしょうか。		・動画をのせなくてよかった。 ・もし、動画をのせていたら、みんなにめいわくをかけてしまったな。	・ルールを守るとは、みんなが気持ちよく生活していくために必要だと気付いていく「わたし」の道徳的価値の高まりをより明確にする。	
			・再度、心情メーターを入力する。	

	3 自己を見つめ、振り返る。 ・ 約束やルールはなぜ必要なのか、これまでの自分の生活を振り返り、今日の授業で考えたことを書く。	・ 動画をのせるときは気をつけよう。 ・ ルールを守って生活しよう。 ・ インターネットは正しく使おう。	・ 自分の経験を振り返り、今後の生き方について自分らしく表現できるようにする。 ・ ルールの意義や目的を理解した上で、自分から進んで守っていこうとする意欲をもてるようにする。 ☆自分のこれまでを振り返るとともに、自分から進んで約束やきまりを守ることの大切さを知り、これからの生き方について考えている。 (発言、記述)	8分
終末	4 教師の話を聞く。 ・ 松伏町 ICT スローガンについて		・ 児童が主体的に約束やルールを守り、生活していこうと思えるようにする。	2分

5 他の教育活動との関連



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・主人公「わたし」がタブレットに書き込みたいと思う気持ちと書き込みをしてはいけないと思う気持ちについて、多面的、多角的に話し合っている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分のこれまでを振り返るとともに、自分から進んで約束やきまりを守ることの大切さを知り、これからの生き方について自分との関わりで考えている。

7 板書計画

やくそくやルールは、なぜ守らなければいけないのだろう。

○新記録を達成した「わたし」の気持ち

- ・うれしくて、なみだが出る。
- ・みんなの息がぴったりあっている。

○「わたし」は、先生の話聞きながら、どんなことを考えているのでしょうか。

- ・動画をのせなくてよかった。
- ・もし、動画をのせていたら、みんなにめいわくをかけてしまったな。

よ
ろ
こ
び
は
だ
れ
に

スクリーン
(金小ブログ・心情メーターの
帯グラフなど)